

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～23℃台を示し、やや低め～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げで、前週の2.8倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の27%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり2.4kgの水揚げで、前週の42%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり1.4トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり80kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.9トンの水揚げで、前週の2.2倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり1.3kgの水揚げで、前週の6倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、カンパチなどが1日1統当たり1.74kgの水揚げ。今期の漁は6月4日で終了した。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり200kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり4.47kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキなどが1日当たり1.30kgの水揚げで、前週の77%（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり1.1kgの水揚げで前週の73%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/5～6/9の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は日本海へ出漁。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>